

〔招 聘〕

招 聘 者 山口大学大学院 理工学研究科 教授／組織・実行・プログラム委員長 田口 常正 1073101
会 議 名 第1回 白色LEDと固体照明国際会議
(The First International Conferense on White LEDs and Solid State Lighting)
開催期間 平成19年11月26日～30日
開催場所 東京都港区 ホテルパシフィック東京
被招聘者 Georgia Institute of Technology, Professor Ian T.Ferguson 教授

概 要

近年、白色発光ダイオードは、白熱電球、蛍光ランプあるいは高輝度放電ランプに代替可能な次世代省エネルギー型固体照明光源として期待されている。白色LED照明技術は、日本から世界に発信され、ここ10年で日本の技術をもとに一般照明光源への応用を目指し、“見る”あかりから“照らす”あかりへと、世界各国で学術的かつ産業化を意図した研究が進められてきた。特に、1998年通産省(現、経産省)が進めた国家プロジェクト「高効率電光変換化合物半導体開発(通称、“21世紀のあかり”)」は、地球温暖化対策の省エネルギー照明光源開発の切札として世界に先駆けて取り上げられた。しかしながら、これまで日本では、白色LED照明に関する学術的国際会議は一度も開催されたことがなく、国内外の学会と産業界からその開催を強く要請されていた。こうした経緯から第1回国際会議が開催され、国内外から606名(うち海外167名)が参加し、白色LED照明技術に関する最新の発表が行われることとなった。本会議オープニングセレモニーでは、白色LED照明の将来展望として、地球温暖化と地球環境保全のために、省エネルギー型固体照明技術の普及・促進は、世界共通の緊急課題であり、1企業、1国のみでは達成できなく、世界各国で協力し合って進めていくことを宣言した。

本会議では、白色LED照明の基礎と応用に関するセッションを16部門設けた。発表論文は、招待講演者を含めて、総数161件、内訳は、口頭発表74件、ポスター発表87件であった。一般発表の採択は非常に厳しく選定され、それだけ優れた論文が発表されたものと考えている。

なお、特別招聘者のFerguson教授には、副委員長、セッション座長をお願いするとともにクロージング・リマークのまとめを行っていただいた。